

新国立劇場 2020/2021 シーズンオペラ

新制作

イーゴリ・ストラヴィンスキー

夜鳴きうぐいす

ピョートル・チャイコフスキー

イオランタ

Le Rossignol / Iolanta

2021年4月4日(日)~11日(日)

会場:新国立劇場オペラパレス 2021年3月13日(土)前売開始



ヤニス・コッコスによる舞台スケッチ

真の愛と希望の物語を紡ぐ、おとぎ話の2本立て。

ストラヴィンスキー&チャイコフスキー、ロシア珠玉の小品2作をカップリング

アンデルセン童話『ナイチンゲール』を原作としたストラヴィンスキー作曲『夜鳴きうぐいす』と、盲目の少女が愛の力で開眼するチャイコフスキーの『イオランタ』。無垢な主人公と迷える人々の心の交流、そして真の愛がもたらす希望が叙情的に描かれる、ロマンティックな小品オペラ2本立てです。

『夜鳴きうぐいす』では、ストラヴィンスキーならではの色彩感豊かでエキゾチックな音楽を可憐なコロラトゥーラが美しく彩り、『イオランタ』では愛と希望がチャイコフスキーの詩情豊かな音楽で歌いあげられます。童話や伝説をもとにした、人々の心模様と希望が叙情的な音楽で描かれる2作の小品が、おとぎ話の世界へ誘います。

演出は、舞台美術家、演出家として世界一流歌劇場で活躍し数々の賞に輝く巨匠ヤニス・コッコス。指揮は緻密な音楽創りに定評ある高関健があたり、三宅理恵、大隅智佳子の2人のソプラノのほか、国内で活躍中の粒ぞろいの歌手たちが出演します。

※招聘指揮者、キャストは、入国制限措置により十分な公演準備をしておの出演が不可能となったため、指揮者、出演者を変更して上演します。 ※演出・美術・衣裳(ヤニス・コッコス)、アーティストック・コラボレーター(アンヌ・ブランカール)、照明(ヴィニチオ・ケリ)、映像(エリック・デュラント)、振付(ナタリー・ヴァン・パリ)は来日せず、リモートで演出等を行います。 ※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

真の愛と希望の物語を紡ぐ、おとぎ話の2本立て。 ストラヴィンスキー&チャイコフスキー、ロシア珠玉の小品2作をカップリング

レパートリーの拡充を目指し、ダブルビル(2本立て公演)を1年おきに新制作上演するシリーズの第2弾にして、『エウゲニ・オネーギン』に続くロシア・オペラの第2弾。

アンデルセンによる3幕の叙情童話『夜鳴きうぐいす』(1914年初演)は、アンデルセン童話『ナイチンゲール(夜鳴きうぐいす)』を原作とした幻想的なオペラで、機械仕掛けの鳥に心を移した病床の王様を、美しい声、そして美しい心のナイチンゲールの歌が癒す物語。ディアギレフのバレエ・リュス委嘱のバレエ音楽『火の鳥』(1910年)『ペトルーシュカ』(1911年)『春の祭典』(1913年)の三大バレエで時代の寵児となったストラヴィンスキー(1882~1971)が発表した作品で、幻想的な夜の森から中国の宮廷へ、ストラヴィンスキーならではの圧倒的色彩感の音楽がダイナミックに開花します。ロシア独特の東洋的色調が全編を彩る一方で、人知を超えた響きのうぐいすの可憐なコロラトゥーラが胸に染みます。

『イオランタ』(1892年初演)はチャイコフスキー(1840~1893)最後のオペラで、バレエ『くるみ割り人形』と同時上演するために書かれた一幕物。盲目の少女が愛と希望の力で開眼する物語が詩情豊かに歌い上げられる、晩年のチャイコフスキー珠玉の作品です。繊細な管弦楽と美しい旋律の宝庫で、その音楽は「おとぎ話のように美しく、彼の作曲家として、また人間としての純真さ、優美さ、繊細さが見事に結実した傑作(芸術監督・大野和士)」です。愛と希望を全員で讃えるフィナーレは特に感動的で、劇場を満たす幸福の響きが深い共感を呼びます。

いずれの作品も、無垢な主人公と迷える人々が出会い、結末では純粋で誠実な心と愛が希望をもたらす物語。崇高な音楽の力で、大人も子どももおとぎの世界へ誘われ、心震わせることでしょう。

巨匠コッコスが繰り広げるおとぎの世界に、粒ぞろいの出演者たち。楽しみ倍増のダブルビル

演出は、舞台美術家、演出家として世界一流歌劇場で活躍し数々の賞に輝く巨匠ヤニス・コッコス。この公演に先駆け、19年に新国立劇場オペラ研修所試演会『イオランタ』を演出、来日して研修生たちを指導しました。指揮は20世紀作品の名手でもあり、緻密な音楽劇りに定評ある高関健が当たります。

コロラトゥーラの夜鳴きうぐいす役は、煌めく美声とチャーミングな舞台姿で注目を集めるソプラノ三宅理恵。イオランタには、『夏の夜の夢』ヘレナ、『フィガロの結婚』伯爵夫人と、今シーズン立て続けに主役級に登場し、リリックな声と見事な音楽性で観客の心を揺さぶった大隅智佳子。持ち味の異なる歌手たちが一度に登場するのもダブルビルならではの楽しみです。日本の今のオペラ界を担う旬の実力派歌手たちが、2作品に華やかに揃います。

<ものがたり>

【夜鳴きうぐいす】

夜。漁師が夜鳴きうぐいすの声に聞き惚れていると、皇帝の命で家来たちがやって来る。病の皇帝の所望と懇願され、うぐいすは宮中へ赴く。宮廷で夜鳴きうぐいすが歌い始めると、皇帝はみるみる快復し、感涙にむせぶ。うぐいすは「その涙で充分」と、皇帝の差し出す褒美を受け取ろうとしない。そこへ来た異国の使者が、機械仕掛けのうぐいすを献上する。皇帝が聴き比べようとすると、本物のうぐいすの姿がない。怒った皇帝は逃げたうぐいすを国外追放とし、機械仕掛けのうぐいすを寝室へ運ぶが、皇帝の病はみるみる悪化、死神まで現れた上、機械仕掛けのうぐいすも動かなくなってしまう。そこへあの夜鳴きうぐいすが舞い戻り、美しい声で死神の心を動かして立ち去らせる。感謝する皇帝に、うぐいすは毎晩歌いに来ることを約束するのだった。



【イオランタ】

中世南フランスのとある山中の城。ルネ王は盲目に生まれた娘イオランタを、自らが盲目であると気づかぬように、外界との接触を避けて育ててきた。王は娘のために医師を招くが、イオランタ本人の治療への意志なくして治らないと言われる。城に二人の青年ロベルトとヴォデモン伯爵が迷い込む。ヴォデモンは美しく純粋なイオランタに魅了されるが、やがてイオランタが盲目であることに気付き、光の世界の素晴らしさを話して聞かせる。事態を悟った王は、「侵入者は処刑する掟だが、イオランタの目が治れば罪を許す」と宣言。イオランタはヴォデモンを救うため、治療に耐える決心をする。一方ロベルトが幼くして決められたイオランタの許嫁であることが明らかになり、ロベルトが婚約解消を申し出るので、王はヴォデモンの求婚を受け入れる。施術を終えたイオランタが登場。王が二人を祝福し、一同喜びに包まれて光を讃える。



＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】高関 健

TAKASEKI Ken

桐朋学園在学中の1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤン氏のアシスタントを務め、タンゲルウッド音楽祭でもバースタイン、小澤征爾らに指導を受けた。国内はもちろん海外への客演も多く、2013年2月と2017年4月にはサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会を指揮、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでも新国立劇場『夕鶴』、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス『ピーター・グライムズ』などで好評を博し、P.ブーレーズ、M.マイスキー、I.パールマン、M.アルゲリッチなどの世界的作曲家やソリストからも絶大な信頼を得る。広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者などを歴任し、現在、東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、静岡交響楽団ミュージック・アドヴァイザー、東京藝術大学指揮科教授 兼 藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。渡邊暁雄音楽基金音楽賞(96年)、齋藤英雄モリアル基金賞(11年)、第50回サントリ一音楽賞(18年度)を受賞。19年には『ロシアにおける日本年』の一環としてロシアで團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日露両国の文化交流に大きな役割を果たした。新国立劇場では11年『夕鶴』のほか、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』を指揮している。



【演出】ヤニス・コックス

Yannis KOKKOS

アテネ生まれ。ストラスブルクの演劇高等学院で舞台美術を学ぶ。舞台美術家としてコメディ・フランセーズ、アヴィニオン演劇祭、ミラノ・ピッコロ座などでアントワーヌ・ヴィテズ演出の多くの作品を手掛けた。主なオペラの美術に、パリ・オペラ座『マクベス』、ミラノ・スカラ座『ペレアスとメリザンド』、ウィーン国立歌劇場『魔笛』、ボローニャ歌劇場『ドン・カルロ』、ジュネーヴ大劇場『エレクトラ』、パレエの美術・衣裳にノイマイヤー振付『シルヴィア』などがある。87年からは演出家としてボローニャ歌劇場、シャトレ座、オランジュ音楽祭、英国ロイヤルオペラ、パリ・オペラ座、ウィーン国立歌劇場、マリンスキー劇場などで『ボリス・ゴドゥノフ』『ファウストの劫罰』『ヴェニスに死す』『ジュリオ・チェザレ』『カルメン』『ドン・ジョヴァンニ』『トリスタンとイゾルデ』『ペレアスとメリザンド』などを演出。スカラ座では98/99シーズン開幕公演『神々の黄昏』、02/03シーズン開幕公演『オーリードのイフィジェニー』を演出した。最近ではギリシャ国立歌劇場17/18シーズン開幕公演『エレクトラ』、アテネとバーリで『さまよえるオランダ人』を演出。批評家協会賞、二度のモリエール賞、プラハ・カドリエンナーレ金賞、フランス芸術文化勲章など受賞多数。98年、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『皇帝ティトの慈悲』がオリヴィエ賞最優秀オペラ作品賞を、シャトレ座の『トロイ人』の演出で04年批評家賞を受賞。新国立劇場では19年オペラ研修所試演会『イオランタ』を演出した。



【夜鳴きうぐいす】三宅理恵

MIYAKE Rie

東京音楽大学卒業、同大学院修了。バード音楽院特待奨学生修士課程修了。ドーン・アップショウに師事。10年藤沢オペラコンクール奨励賞受賞。これまでに小澤征爾音楽塾『カルメン』フラスキータ、日生劇場『フィデリオ』マルチェリーネ、NHK音楽祭におけるパーヴォ・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、その他『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『フィガロの結婚』バルバリーナなどに出演。オペラ以外にも、フォーレ『レクイエム』、シューベルト『ミサ曲第5番 変イ長調』、モーツァルト『レクイエム』、『雀のミサ』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』、カール・ジェンキンス『レクイエム』、アンドリュー・ロイド・ウェバー『レクイエム』等宗教曲のソリストとして活躍。新国立劇場では『パルジファル』花の乙女、鑑賞教室『愛の妙薬』ジャンネッタ、『ジークフリート』ハイライトコンサート「森の小鳥」に出演している。二期会会員。



【中国の皇帝】吉川健一

YOSHIKAWA Kenichi

国立音楽大学、同大学大学院修了。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース第6期修了。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位、トルトーナ国際音楽コンクール第3位。二期会『魔笛』、日生劇場『夕鶴』『利口な女狐の物語』、札幌交響楽団『ピーター・グライムズ』などに出演。新国立劇場では『沈黙』通辞、『ピーター・グライムズ』ネッド・キーン、『夕鶴』運ず、『蝶々夫人』ヤマドリ、『カルメン』モラレス、『ジャンニ・スキッキ』マルコ、『セビリアの理髪師』フィオレロ、『夏の夜の夢』スターヴリング、演奏会形式『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、鑑賞教室・関西公演『魔笛』パパゲーノなど新国立劇場公演に欠かせない存在として数多く出演。20/21シーズンは『カルメン』モラレスにも出演予定。二期会会員。



【ルネ】妻屋秀和

TSUMAYA Hidekazu

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。94年~01年ライブツィヒ歌劇場、02年~11年ワイマール・ドイツ国民劇場専属歌手。今までにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。国内でも多くの劇場で活躍。これまでに出演したオペラは60余作、演じた役は80役、公演数は900を超え、18年にはオペラ・デビュー30周年を迎えた。新国立劇場では『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ラインの黄金』ファーゾルト、『ファルスタッフ』ピストーラ、『魔笛』ザラストロ、『ローエングリン』ブラバントの貴族IV、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『カルメン』スニガ、『ルチア』ライモンド、『オテロ』ロドヴィーコ、『アイーダ』ランフィス、『フィデリオ』ロッコ、『タンホイザー』領主ヘルマン、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『トウランドット』ティムールなど数多く出演。二期会会員。



【ロベルト】井上大聞

INOUE Tamon

京都府出身。京都市立京都堀川音楽高校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽専攻卒業、卒業時に同声会賞を受賞し、同声会新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所第21期生(21年3月修了予定)。2020年、第89回日本音楽コンクール・声楽部門第3位。大学院在学中に、2017年度モーニング・コンサート第10回に出演。京都芸術祭音楽部門にて、第29回では京都芸術祭市長賞を、第30回では新人賞及び聴衆賞を受賞。杉並区民オペラ第13回公演『道化師』にシルヴィオ役として出演。これまでに小木谷好美、寺谷千枝子、甲斐栄次郎の各氏に師事。今回が新国立劇場オペラ公演デビューとなる。

**【ヴォデモン伯爵】内山信吾**

UCHIYAMA Shingo

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第36回日伊声楽コンクール入選。ドイツのブラウンシュヴァイク歌劇場で数多くの公演に出演。これまでに『蝶々夫人』ピンカートン、『カルメン』ドン・ホセ、『椿姫』アルフレードなどを演じている。新国立劇場では『マクベス』マルコム、『蝶々夫人』ゴロー、『ムツェンスク郡のマクベス夫人』ジノーヴィー・ポリゾヴィチ・イズマイロフ、『オテロ』ロドリゴ、『ナブッコ』アブダッロ、『ばらの騎士』ヴァルツァッキ、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』ゴローなど数多く出演、個性的な役柄で特に好評を博す。東京オペラ・プロデュース会員。足利オペラ・リリカ登録専属アーティスト。

**【エブン＝ハキア】ヴィタリ・ユシュマノフ**

Vitaly YUSHMANOV

Санктペテルブルク生まれ。マリンスキー劇場の若い声楽家のためのアカデミーで学ぶ。ライプツィヒのメンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学卒業。在学中にバート・ヘルスフェルト・オペラ音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスの「ニューイヤーコンサート」に出演。2013年秋以来度々来日し、オペラ、リサイタル、オーケストラなどに出演。15年より日本に拠点を移し、『歌の翼に』『Parole d'amore～愛の言葉』『「ありがとう」を風にのせて～日本名歌集～』をリリース。びわ湖ホール『ラインの黄金』ドンナー、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2017、第2回及び第4回オペラ歌手紅白対抗歌合戦、ロシア・ナショナル管弦楽団『イオランタ』（演奏会形式）エブン＝ハキアに出演。19年、東京芸術劇場ほかの全国共同プロジェクト『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールに出演。日本ステイ歌曲コンクール2015第1位及び特別賞、第14回東京音楽コンクール声楽部門第2位、第52回日伊声楽コンクール第1位及び最優秀歌曲賞受賞。新国立劇場では19年にオペラ研修所公演『イオランタ』でロシア語言語指導、『エウゲニ・オネーギン』オネーギン役及び20年『こうもり』アイゼンシュタイン役のカヴァーを務めた。新国立劇場公演へは、当初から予定していた『夜鳴きうぐいす』侍役と共に、今回がデビューとなる。

**【イオランタ】大隅智佳子**

OHSUMI Chikako

東京藝術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修士課程、博士後期課程修了。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース第7期修了。学部在学中に安宅賞、卒業時に第13回松田トシ賞、アカンサス音楽賞受賞。横浜市民オペラ『カルメン』ミカエラ役でオペラ・デビュー。07年シャルパンティエ『ルイーゼ』タイトルロールに出演。東京二期会『エウゲニ・オネーギン』（コンヴィチューニー演出）タチアーナの成功で新境地を拓き、11年東京二期会『サロメ』タイトルロール、14年東京二期会『イドメネオ』エレットラでも好評を博す。12年、日生劇場開場50周年記念特別公演『メデア』に主演し絶賛を浴びた。新国立劇場では20/21シーズン開幕公演『夏の夜の夢』ヘレナ、『フィガロの結婚』伯爵夫人で絶賛を受けたばかりであり、『イオランタ』タイトルロールとしての登場に一層の注目が集まる。二期会会員。



新国立劇場 2020/2021 シーズンオペラ
 ストラヴィンスキー 夜鳴きうぐいす <全3幕> / チャイコフスキー イオランタ <全1幕>
 Igor STRAVINSKY "Le Rossignol" / Pyotr TCHAIKOVSKY "Iolanta"
 <ロシア語上演／日本語及び英語字幕付>

【公演日程】 2021年4月4日(日)14:00 / 6日(火)14:00 / 8日(木)19:00 / 11日(日)14:00

【会場】新国立劇場 オペラハウス

【チケット料金】 S:27,500円・A:22,000円・B:15,400円・C:8,800円・D:5,500円・Z:1,650円

【前売開始】 2021年3月13日(土)

※チケット発売日は当初発表から変更となりました。

※招聘指揮者、出演者につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る入国制限措置により、十分な公演準備をしておの出演が不可能となったため、指揮者、出演者を変更して上演します。

※演出・美術・衣裳(ヤニス・コッコス)、アーティスティック・コラボレーター(アンヌ・ブランカール)、照明(ヴィニチオ・ケリ)、映像(エリック・デュラント)、振付(ナタリー・ヴァン・パリシ)は来日せず、リモートで演出等を行います。

※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を講じた新時代の生活様式を考慮した演出により上演いたします。

指揮 高関 健
 Conductor TAKASEKI Ken
 演出・美術・衣裳 ヤニス・コッコス
 Production, Set and Costume Design Yannis KOKKOS
 アーティスティック・コラボレーター アンヌ・ブランカール
 Artistic Collaborator Anne BLANCARD
 照明 ヴィニチオ・ケリ
 Lighting Design Vinicio CHELI
 映像 エリック・デュラント
 Video Eric DURANTEAU
 振付 ナタリー・ヴァン・パリシ
 Choreographer Natalie VAN PARYS
 舞台監督 高橋尚史
 Stage Manager TAKAHASHI Naohito

【夜鳴きうぐいす／Le Rossignol】

夜鳴きうぐいす 三宅理恵
 Le Rossignol MIYAKE Rie
 料理人 針生美智子
 La Cuisinière HARIU Michiko
 漁師 伊藤達人
 Le Pêcheur ITO Tatsundo
 中国の皇帝 吉川健一
 L'Empereur de Chine YOSHIKAWA Kenichi
 侍従 ヴィタリ・ユシュマノフ
 Le Chambellan Vitaly YUSHMANOV
 僧侶 志村文彦
 Le Bonze SHIMURA Fumihiko
 死神 山下牧子
 La Mort YAMASHITA Makiko
 日本の使者たち 高橋正尚
 Trois émissaires japonais TAKAHASHI Masanao
 濱松孝行
 HAMAMATSU Takayuki
 青地英幸
 AOCHI Hideyuki

【イオランタ／Iolanta】

ルネ 妻屋秀和
 René TSUMAYA Hidekazu
 ロベルト 井上大聞
 Robert INOUE Tamon
 ヴォデモン伯爵 内山信吾
 Le Comte Vaudémont UCHIYAMA Shingo
 エブンはハキア ヴィタリ・ユシュマノフ
 Ibn-Hakia Vitaly YUSHMANOV
 アルメリック 村上公太
 Almeric MURAKAMI Kota
 ベルトラン 大塚博章
 Bertrand OTSUKA Hiroaki
 イオランタ 大隅智佳子
 Iolanta OHSUMI Chikako
 マルタ 山下牧子
 Martha YAMASHITA Makiko
 ブリギッタ 日比野幸
 Brigitta HIBINO Miyuki
 ラウラ 富岡明子
 Laura TOMIOKA Akiko

合唱指揮 富平恭平
 Chorus Master TOMIHIRA Kyohei
 合唱 新国立劇場合唱団
 Chorus New National Theatre Chorus
 管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団
 Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督 大野和士
 Artistic Director ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/iolanta/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケットほか

* 2席 1,650 円:公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。

* 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引など各種割引あり。* 未就学児入場不可。

* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

新国立劇場 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp> 東京都渋谷区本町 1-1-1 京王新線新宿駅より 1 駅、初台駅直結。